

意見交換会概要および結果

●概要

日時：令和8年3月15日（日）および24日（火）

会場：藤樹の里文化芸術会館 練習室1

対象者：文化ホールを過去5年間に利用されたことのある市内の団体等（67団体）および参加を希望される方

参加者：8団体（11人）

参加率：11.9%

●テーマごとに出ましたご意見です。（施設名は市民会館、文芸会館、ガリバーと略す）

文芸会館

- ・500人規模が良いとの結果が出たことを踏まえ、文芸会館を再開してほしい。（複数人）
- ・文芸会館のホールを早く使えるようにしてほしい。（複数人）
- ・アンケート結果で文芸会館が必要との意見があるのだから、ホールの最低限の維持整備をする中に、調光卓の更新も入れてほしい。
- ・500人規模で演劇をするには文芸会館の再開が必要である。
- ・講演なら使っても良いのではないか。

ガリバー

- ・プロの音楽家も良いホールと話されており、高島市の財産である。

その他

●現状でのホールの状況について

- ・使用できずに困っている団体を把握しているのか。
- ・休止を受け入れ、自分たちで使用するホールを調整していることも理解して欲しい。
- ・ふじのきホール（安曇川公民館）の予約に影響はでていないか。
- ・ふじのきホール（安曇川公民館）へ文芸会館の技術者や機材をまわせないか。

●今後のホールについて

- ・住民が気楽に行けるよう近所にあることが大事である。（高齢者は遠いに行けない）
- ・誰もが使いやすいよう、駐車場整備やエレベーター整備も考えてもらいたい。
- ・高齢者や子どもたちが、発表できたり集まったりする場を大事にする市であってほしい。
- ・文化振興を大事にしてくれる市であってほしい。
- ・利用団体によって大きいホールが良い団体もあるし、小さいホールが良い団体もあるので、規模感の検討も重要になってくる。

●ホールの運営について

- ・グッズやコーヒー販売など、ホールが収益を上げられるようにできないか。

●教養を高めるために

- ・本物の芸術に触れる場所や機会にお金を掛けてほしい。

●今後のホールについて

- ・ホールへのアクセスが悪いことも（バスがない）利用者の減少につながるので、アクセスが改善されるとホールを利用しやすくなる。
- ・イベントが重ならないよう、日程調整できる工夫ができないか。
- ・使用料を抑えるため、小さな団体は合同で開催する等の工夫が必要である。
- ・送迎バスがあると利用者は文化芸術に触れやすい。

●これからのホールの検討について

- ・稼働率とお金のバランスを見て考えてはどうか。
- ・文芸会館の休止と、ホール3館のこれからは、別の視点で考えるべきではないか。
- ・いつまでに結論を出すのか教えてほしい。
- ・これからのスケジュール感を教えてもらえると、今後の心積りができる。（複数人）
- ・市の見解ではなく、文化ホールとしての意見を聞けると安心できます。
- ・市政モニターアンケート結果を踏まえ、論理的に考えると、500人規模で2館集約となるが、アンケートの意見は非常に重いものと思います。
- ・次回の意見交換会はどのような状況で開催されるのか知りたい。

●その他

- ・市民会館のロビーを貸し出して欲しい。